

【2022 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
現代社会と倫理		選択	1	1.2	前期 (前半)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
松崎 昇	D302	noboru.matsuzaki	金曜日 12:30~14:40		
授業の目的・概要	<p>[目的] 現代は歴史の大きな転換期にあり、前途不明感が強い。しかしそれは若者にとって大いなるチャンスでもある。このチャンスを生かすためには、事態をしっかりと把握し、自ら能動的に関与していかなければならない。</p> <p>本科目は、受講生が現代社会の応用倫理的諸問題（企業倫理・政府倫理・科学倫理・生命倫理等）に積極的に関心を持ち、自分なりにあれこれ調査考察発表議論できるようになることを目的とする。特に療法士・福祉士になる人にとって、現場での倫理的な把握判断が不可避となる。本科目で、確かな倫理的指針を、各自が感得することができよう。大方の受講を勧める。</p> <p>[概要] 倫理学の基本を踏まえたうえで、現代社会が抱えるさまざまな応用倫理的諸問題を考察していく。生命倫理も扱う。</p> <p>終盤の第6~8回には、Active Learningを行う。①Power Point発表・質疑応答、②Debate、③Discussion、という三形態を用意している。exciting &amp; thrillingな3回となろう、お楽しみに。</p> <p>Teams を用いた同時双方向型の遠隔授業となる。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の応用倫理的な諸問題に広く関心を持ち、積極的に調べ感じ考えてみることを。</li> <li>・毎回の授業で用いる Power Point を事前に up する予定なので、可能な人は print out しあらかじめ目を通しておくことを勧める。</li> </ul>				
教科書	使用しない。				
参考書	授業中に適宜紹介する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	倫理学について、基本的な事項を説明することができる。			HSU(1)、(2)、(5)	
②	現代社会における応用倫理的諸問題について、基本的な事項を説明することができる。			HSU(1)、(5)	
③	生命倫理等に関し、受講生同士でさまざまに発表・対論・討論することができる。			HSU(3)、(4) PT(3)、OT(1)、HC(6)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	科目の Guidance。 倫理を学ぶ1 (道徳・法律等との相違、義務論、帰結主義)。	同時双方向型遠隔授業	課題を作成し提出する。	2	
2	倫理を学ぶ2 (徳論、3つの理論の整理、応用倫理学)。	同時双方向型遠隔授業	課題を作成し提出する。	4	
3	現代経済倫理を学ぶ (企業倫理・地球倫理)。	同時双方向型遠隔授業	課題を作成し提出する。	4	
4	現代国家倫理を学ぶ (政府倫理・世界倫理)。	同時双方向型遠隔授業	課題を作成し提出する。	4	
5	現代意識倫理を学ぶ (科学倫理・存在倫理・生命倫理)。 Active Learning のための Guidance。	同時双方向型遠隔授業	課題を作成し提出する。	4	
6	AL1: 受講生による Power Point 発表・質疑応答。	同時双方向型遠隔発表	課題を作成し提出する。	4	
7	AL2: 受講生による Debate。	同時双方向型遠隔対論	課題を作成し提出する。	4	
8	AL3: 受講生による Discussion、まとめ。	同時双方向型遠隔 討論・授業	課題を作成し提出する。	4	
試					

【2022 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	40	40	0	20	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	0	10	10	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	期末 Report を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察の質量等に着目する。				Comment を付け、返送する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		受講生による [①Power Point 作成・発表・質疑応答、 ②Debate、③Discussion] を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察・発表・発言の質量等に着目する。				Comment を付け、結果を公表する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回提出する課題を評価する。 調査・考察の質量等に着目する。				Comment を付け、返送する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし。						
教員の実務経験	なし。						
実践的授業の内容	なし。						
そ の 他	1. Teams を用いた同時双方向型遠隔授業となる。 各種の同時双方向行為があるので、通信容量無制限の Wi-Fi 環境の確保を勧める。 2. 授業進度等、また今後の新型コロナウイルス感染症の状況等によっては、シラバスの変更もありうる。 その場合には事前に告知する。						